



Dow Jones-UBS Commodity IndexSM Methodology

ダウ・ジョーンズUBSコモディティ・インデックス メソドロジー

DJ-UBSCIは実物コモディティの先物契約で構成されています。一般的に企業の継続的な持ち分を所有者に与える株式とは異なり、コモディティ先物契約は通常、対象となる実物コモディティを受け渡しする日を特定しています。受け渡しプロセスを回避し、ロングの先物ポジションを維持するために、期近契約を売却し、まだ限月に達していない契約を購入する必要があります。このプロセスは先物ポジションの「ローリング」として知られています。DJ-UBSCIは「ローリング・インデックス」です。

DJ-UBSCIシリーズのインデックスは超過リターンとトータル・リターン・ベースの両方で算出されています。超過リターン・インデックスは対象コモディティの先物価格変動のリターンのみを反映しますが、トータル・リターン・インデックスは完全担保付きの先物ポジションのリターンを反映しています。DJ-UBSCIは、エネルギー、貴金属、工業用金属、家畜および農産物などのコモディティ・セクターをカバーする19種類のコモディティで構成されています。

DJ-UBSCIの構築は以下の4つの 主要テーマに基づいています。

- 経済的重要性
- 分散化
- 連続性
- 流動性

経済的重要性

コモディティ・インデックスは世界経済に対する多様なコモディティ・グループの重要性を公正に反映する必要があります。そのため、DJ-UBSCIは組み入れたコモディティの相対的な量の決定に当たって、米ドル調整後の生産データとともに先物契約の流動性データを重視しています。

特定のコモディティに関する流動性、または取引活動の相対的な量は、金融と現物市場の参加者がそのコモディティに置く価値の重要な指標となります。流動性はコモディティの経済的な重要性を測る尺度となります。DJ-UBSCIは相対的なウェイトの決定に当たって先物市場に対する外因的なデータ(生産)と内因的なデータ(流動性)の両方を重視しています。

生産データは経済的な重要性に関する有用な尺度ですが、相対的に保存できないコモディティ(生牛など)を犠牲にして保存可能なコモディティ(金など)の経済的な重要性を過小評価する可能性があります。生産データだけを見た場合でも、金融市場の参加者が一定のコモディティに置く投資価値を過小評価する可能性があります。ウェイトの尺度として流動性データを追加することにより、この種の潜在的な歪みが軽減されます。



分散化

DJ-UBSCIはコモディティ投資に関する流動性が高い、分散化されたベンチマークになるよう設計されています。特定のコモディティやセクターのウェイトが突出して高いと、ボラティリティが拡大し、幅広いコモディティ・インデックスという概念に逆行しかねません。

単一のコモディティやコモディティ・セクターがインデックスで突出しないようにするため、DJ-UBSCIは複数の分散化ルールに依存しています。そのルールとは以下の通りです：

- 関連するコモディティ・グループ(エネルギー、貴金属、家畜、穀物など)の構成比率がインデックスの33%を上回らないようにする。
- 単一のコモディティのインデックス構成比率が2%を下回らないようにする。

分散化ルールは、年一回DJ-UBSCIに価格比率ベースのウェイト変更とリバランスが行われるときに適用されます。

リバランス

リバランスは長期的に一つのコモディティやコモディティ・グループへの過度の集中を回避することに役立つため、コモディティ先物インデックスにとって重要です。リバランスにより持続と思われる市場の現象を利用することが可能になります。

DJ-UBSCIには価格比率ベースで年一回ウェイト変更とリバランスが行われます。

連続性

数百または数千の銘柄で構成される場合が多い市場全体の株式インデックスとは異なり、コモディティ先物の利用可能なユニバースは限定されています。インデックスの構成銘柄が毎年大幅に変わると、将来のインデックス動向の予測可能性は低下します。

DJ-UBSCIは年一回のウェイト変更とリバランス、および流動性と生産データに関する5年平均を通じてこうした格差を解消しようとしています。前述した分散化ルールとともに、ウェイト変更、リバランス、平均化はDJ-UBSCIが将来の市場動向にスムーズに対応できるように設計されています。

インデックスの構成比率

商品流動性比率

DJ-UBSCIの第一段階は相対的な流動性と生産比率を決定することです。毎年6月にインデックス組み入れの可能性があると指定された各コモディティ(集合的に「コモディティ」)の商品流動性比率(「CLP」)が決定されます。これは、そのコモディティの参照契約(「指定契約」)として選択された先物契約の売買高と米ドルベースの実績価値の積の5年平均を算出し、その結果を全コモディティの同様の積の合計で割って導き出します。全米先物取引業協会は商品流動性比率の算定に用いる売買高データを発表しています。

商品生産比率

商品生産比率(「CPP」)も生産データの5年平均を指定契約の米ドルベースの実績価値で調整し、その結果をすべてのコモディティに関する積の合計で割って導き出されます。

商品流動性比率の計算と同様に、商品生産比率は5年間で計算されます(「生産平均期間」)。

商品指数乗数

次に商品流動性比率と商品生産比率を合わせて(2対1の比率を利用)、各コモディティの商品指数比率(「CIP」)を導き出します。この商品指数比率は次にインデックスに組み入れるコモディティ(「インデックス・コモディティ」)とそのウェイト比率を決定するための分散化ルールに従って調整されます。

CIP算出後の1月の第4営業日にCIPを同日のすべてのインデックス・コモディティの決済価格と合わせて各インデックス・コモディティの商品指数乗数(「CIM」)を導き出します。商品指数乗数は1年間有効です。

いったん商品指数乗数が決定されると、DJ-UBSCIは演算処理で導き出され、インデックス・コモディティのCIMに該当する指定契約の各米ドル建て価格を掛けたものとなります。その後、積を合計します。この合計の日々の比率変動が前日のDJ-UBSCIの値に適用され、DJ-UBSCIの現行値が算出されます。

インデックスに組み入れられたコモディティ

考慮に値するほど世界経済に対して重要であり、適格な関連先物契約を通じて取引可能と考えられるコモディティが選択されます。ロンドン金属取引所(「LME」)で取引されている複数の金属契約(アルミニウム、ニッケル、亜鉛)を例外として、各コモディティは米国の取引所で売買される先物契約の対象となっています。

指定契約

指定契約はインデックスに組み入れられた19のコモディティのそれぞれに関して選択されます。コモディティの指定契約として選ばれるに足る流動性を備えた2つ以上の先物契約が存在する複数のLME契約を除き、北米において米ドル建てで取引されている先物契約が選択されます。2つ以上のそのような契約が存在する場合は最も活発に取引されている契約が選択されます。

現在ダウ・ジョーンズUBSコモディティ・インデックスに組み入れられているコモディティ:

アルミニウム
コーヒー
銅
トウモロコシ
綿花
原油
金

灯油
豚赤身肉
生牛
天然ガス
ニッケル
銀
大豆

大豆油
砂糖
無鉛ガソリン
小麦
亜鉛



ダウ・ジョーンズUBSコモディティ・インデックスの詳細については下記をご覧ください。

www.djindexes.com

または次の顧客サービス担当までご連絡ください。

米国 +1.609.520.7249 | アジア +86.10.5737.2634

欧州: +49.69.29.725.180

djindexsupport@djindexes.com

情報はすべて2011年8月時点のものです。

© CME Group Index Services LLC 2011. 無断複写・転載を禁じます。

本パンフレットに掲載されている情報は、情報目的のみに提供されています。この情報は、証券、先物、その他の金融商品や商品の販売の提案、または購入の提案の勧誘を行うものではありません。本パンフレットに掲載されている情報は（過去の価格や価値を含め）、UBS Securities LLC（「UBS証券」）およびCME Group Index Services LLC（「CME Indexes」）が信頼できると判断した情報源から入手していますが、UBS証券、CME Indexes、またはそれらの各ライセンス者もしくは関連会社のいずれも本パンフレットに掲載された情報の正確性または完全性に関していかなる表明も行うものではなく、またはいかなる責任や義務も負いません。Dow Jones-UBS Commodity IndexSMは、1998年7月14日にローンチされ、そのサブインデックス、フォワード・インデックス、関連するインデックスはその後にローンチされた可能性があります。ローンチ日以前のインデックスの全データは入手可能なデータを利用した過去の推定値です。過去の実績は将来の成績を示すものと見なされるべきではなく、見なすことはできません。DJ-UBSCIに関する詳細な説明については、DJ-UBSCIハンドブックをご参照ください。

「Dow Jones Indexes」はCME Indexesの許諾商標です。「Dow Jones[®]」および「Dow Jones Indexes」、「DJ」、「UBS」、「Dow Jones-UBS Commodity Indexes」、「DJ-UBSCI」、および上記の他のインデックス名はすべて、Dow Jones Trademark Holdings, LLC（「Dow Jones」）およびUBS AG（「UBS AG」）のサービスマークであり、場合によっては、CME Indexesによる使用が許可されています。「CME」はChicago Mercantile Exchange Inc.の商標です。Dow Jones-UBS Commodity IndexesSMはCME IndexesおよびUBS証券との契約に従って共同で営業および販売促進が行われています。その他の名称はすべて、それぞれの所有者の商標またはサービスマークです。

Dow Jones-UBS Commodity Indexesは、ICE Data, LLPおよびその関連会社が所有する砂糖No. 11、綿花No. 2、コーヒーC、ココア、ブレント原油、軽油、およびFCOJ-A先物取引の全部または一部に基づくものであり、ICE Data, LLPのライセンスの下で許可を得てCME Indexesが使用しています。

Dow Jones-UBS Commodity Indexesに基づく投資商品は、Dow Jones、CME Indexes、UBS AG、UBS証券、またはそれらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、Dow Jones、CME Indexes、UBS AG、UBS証券、またはそれらの関連会社はいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関していかなる表明も行うものではありません。これらの資料に何らかの指数の先物契約を含めることは、いかなる方法であれ、当該の先物契約または基礎となる上場投資された実物商品の投資メリットについて、Dow Jones、CME Indexes、UBS AG、UBS証券、またはそれぞれの関連会社の見解を反映するものではありません。Dow Jones、CME Indexes、UBS AG、UBS証券、またはそれぞれの関連会社はいずれも、これらのインデックスに関連して、投資の助言を提供していません。

これらの資料に記載された全情報は、「現状有姿」で提供されます。CME Indexes、Dow Jones、UBS AG、UBS証券、およびそれぞれの関連会社は、これらの資料の正確性または完全性についていかなる表明もしていません。資料の内容は予告なしに変更されることがあります。また、CME Indexes、Dow Jones、UBS AG、UBS証券、およびそれぞれの関連会社は、これらの資料に関連する一切の責任を負いません。